

競 技 審 判 上 の 注 意

◎全般的事項

- 1 この大会は、兵庫県高等学校体育連盟バドミントン専門部が定めた大会要項および令和6年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、公認審判員規程にしたがって行います。
- 2 シューズは、競技用と下足（体育館外用）をはっきり区別してください。
- 3 貴重品は、各自で責任をもって管理してください。
- 4 紛失・取り違え等を防止するため、各自の持ち物には必ず名前を記入してください。
- 5 会場の諸施設使用にあたっては、破損・汚損がないよう細心の注意をはらってください。
- 6 ゴミは、各自で持ち帰ってください。（会場やその周辺、最寄り駅などに放置することのないように）
- 7 各会場で連絡する「使用上の注意」は、遵守してください。
- 8 競技時の服装は、日本バドミントン協会大会運営規程 第23条の定めによります。（審査合格品を着用のこと）なお、上衣の背面にゼッケン（校名・県名 30cm×20cm、字はよく判別できる色）をつけてください。
- 9 試合の進行状況によって、試合時間・コートを変更することがありますので、館内放送には十分注意してください。
- 10 コール後5分を経てコートに入らない場合は、原則として棄権とみなします。
- 11 主審が認めた以外のタイムは一切認めません。
- 12 次のような違反行為に対しては、厳正に対処します。
（警告、フォルト、限度を越えた場合は失格）
 - ・体力や息切れの回復等のための遅延に関わる行為。
 - ・インターバル以外の指示や助言、主審の許可なしにコートを離れる行為。
 - ・故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
 - ・審判員や観客に対し横柄な振舞いや下品で無礼な態度、言動。
 - ・ラケットや身体でネット等のコート施設を叩くとか、耳障りな掛け声や叫び声を発する等の競技規則を越えた不品行または不快な行動。
 - ・モバイル機器の使用。
- 13 試合中のけがや病気の際、コートに入ることが許されるのは、通常医師などのほか必要と認められる競技役員に限られます。
- 14 「抗議」「異議」は一切認めません。審判の判定に疑問がある場合には、次のサービスがなされる前に、団体戦では該当選手と監督、個人戦では該当選手に限り、質問することが認められます。
- 15 試合が連続する場合のインターバルは、次のとおりとします。
 - ・団体戦が連続する場合は10分。
 - ・団体戦において2コート以上並行して試合を行い、同一選手が連続して試合をする場合は10分。
 - ・個人戦は10分。
- 16 各マッチ（試合）のインターバルは、次のとおりとします。
 - ・各ゲーム中に一方のスコアが11点になった時、「60秒を越えないインターバル」を与えます。（競技区域から離れることなく20秒前にはコートに入る）
 - ・各ゲームの間は、「120秒を越えないインターバル」を与えます。（20秒前にはコートに入る）
- 17 試合の優先順は、次のとおりとします。
 - ・第3日…団体戦が、ダブルスに優先する。
 - ・第4日…ダブルスが、シングルスに優先する。
- 18 マッチ（試合）中、選手の水分補給を認めますが、次のことを厳守してください。
 - ・水分補給が必要となった選手は、主審の許可を得てください。
 - ・団体戦の際、ベンチでの水分補給は認めません。氷のうは、ベンチ、コーチングシートで保冷バッグなどに入れ、保管してください。
 - ・容器は、倒れてもこぼれないものを使用すること。
- 19 監督・コーチ・外部コーチは、IDカードを必ず着用すること。着用がない場合は、ベンチ、コーチングシートに入れません。外部コーチは、あらかじめ申請のあったものに限る。
- 20 コートサイドには各自のバッグ等を持参し、飲み物等も各自のバッグに収容してください。

◎団体戦に関する注意

- 1 団体戦は、2複3単（D1・D2・S1・S2・S3の順，S1とD1およびD2の選手は兼ねられない）で行い，勝敗決定次第打ち切りとします。
- 2 オーダー用紙の記入には，ミスがないように注意してください。
- 3 エントリー選手（5～8名）に変更がある場合は，所定の用紙「エントリー選手変更届」で最初に試合がある日に本部に届けてください。これ以後の変更は，認めません。
- 4 初回戦のオーダー用紙は，「オーダー提出用ファイル」に入れてあります。
- 5 オーダーの提出は，「オーダー提出用ファイル」に入れて，放送の指示で行ってください。
- 6 試合の進行状況により，本部の判断で，試合開始時刻・コートを変更することがあります。また，最初からもしくは試合の途中からコート並行で行う場合があります。
- 7 準決勝・決勝は，最初から2～3コート並行で行います。S1は空いた方のコートにいれ，S2・S3に関しては，試合の進行状況により，本部が判断し実施するものとします。
- 8 ベンチに入れるのは，エントリー選手（5～8名）と監督1名，コーチ1名，マネージャー1名の合計11名以内とします。
- 9 コール後5分を経て出場選手が整列しない場合は，原則として棄権とみなします。
- 10 競技開始前と終了後の対戦校あいさつ時に，引率顧問の確認を行います。顧問不在の場合は，没収試合とします。引率顧問が会場を離れる際は，必ず本部に届け出てください。
- 11 練習は，試合前のあいさつ後，3分間ずつ行ってください。それ以外は，一切認めません。
- 12 審判は，原則として敗者審判制とします。敗者校は主審1名，線審2名，得点表示係1名の合計4名で行ってください。審判用の筆記具は各校で用意をしてください。
- 13 準決勝・決勝は，本部役員が主審をする場合があります。
- 14 サービスジャッジは，原則としてつけません。
- 15 進行状況により，実施できない試合は翌日に繰り越すことがあります。

◎個人戦に関する注意

- 1 選手の変更は認めません。ダブルスのペアの変更も認めません。
- 2 監督・コーチ用のコーチングシートを2脚設けます。ただし，選手のチェンジエングズに合わせて移動してください。
- 3 練習については，競技開始前に割り当て練習を行います。（タイムテーブル参照）
- 4 審判は，原則として敗者審判制とします。敗者は，主審と得点表示係をおこなってください。審判用の筆記具は各校で用意をしてください。
- 5 線審は，対戦校相互で行ってください。
- 6 準決勝・決勝は，本部役員が主審をする場合があります。
- 7 サービスジャッジは，原則としてつけません。
- 8 進行状況により，実施できない試合は翌日に繰り越すことがあります。

◎表彰

団体戦

1 位	2 位	3 位（2校）	5 位（4校）
優勝旗 優勝杯 優勝楯 レプリカ 賞状2枚 （高体連・県協会）	準優勝楯 賞状2枚 （高体連・県協会）	賞状2枚 （高体連・県協会）	賞状1枚 （高体連）

個人戦

1 位	2 位	3 位
優勝杯（単） 優勝楯（複） 賞状2枚 （高体連・県協会）	賞状2枚 （高体連・県協会）	賞状2枚 （高体連・県協会）